

# ハンドブック ワンポイント レッスン

# 知っておきたい規則とルール

## Question

マスターレフェリーの方からの質問です。

『惰性での「ネットタッチとネットオーバー」との違いについてです。

実際に経験したことで、ポレー (スマッシュ) して惰性でも「ネットタッチ」は、失ポイントです。「ネットオーバー」は、相手の打球妨害にならないければ、有効で打球できなかった場合は (中止した) そのペアの失ポイントとなる。これは明らかである。しかし、実例で、惰性で「ネットオーバー」して、相手のコートに着地する前に同時にその勢いで「ネットタッチ」した。(相手は、打球できる状態と判断したが「ネットタッチ」が目に入り打たなかった。) 正審は、打たなかったペアの失ポイントとしたが、タッチを主張した。正副審判は協議して、惰性でのネットオーバーが先で、打球妨害はなく、打たなかった相手ペアの失ポイントを報告したが納得せず (イエローカードを出しても良いが) 「正副の審判が再協議して、ノーカウントにして進行した。」

**質問1** どちらが先かが明確であれば説明もできるが、今回の場合、ノーカウントの条項を適用してもよかったですと思いますが、いかがでしょうか。

**質問2** 失ポイントが有効かは、第35条の(5)にかかわってきますが、第36条の(3)でノーカウントになる場合も考えられます。このように審判の権限であるインプレー中の惰性でのネットオーバーが打球妨害であったかどうかの判定が非常に難しい。

ネットタッチとネットオーバー (失ポイントと有効) の違いと、さらに第35条(5)の具体例があれば教えてください。』

## Answer

惰性でのネットオーバーが打球妨害かどうかの判断はアンパイヤーがしなければならない

### 質問1について

貴方はどうしてノーカウントでもよかったと思われたのでしょうか。この問題を一緒に考えてみましょう。実例は、「打球の惰性でネットオーバーをしたが打球妨害にならないで、ボールが相手コートに着地する前に、打球の勢いでネットタッチをした」とあります。そうであれば、ボールはまだツーバンスしていない間でネットタッチをしているので、「ネットタッチ」で打球した側が失ポイントになります。ところが、貴方はノーカウントでも良かったと思っておられますが、根拠はありますか。根拠もなく、どうして良いかわからないからノーカウントで決着をつけようとしたのではないのでしょうか。この時のネットオーバーは、打球の惰性でネットオーバーをしているのであって有効です。その打球の勢いでボールがツーバンスする前にネットタッチをしたのですから「どちらが先か」という判定にはなりません。したがって、正審は、協議の結果においても判断を誤った判定を下したことになります。

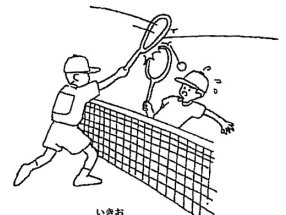
### 質問2について

さて混乱している問題を解決して行きましょう。先に申し上げましたように、打球の惰性でネットオーバーをしたことは相手方の打球妨害にならないければ有効です。ところが、ネットタッチはいかなる場合も失ポイントです。さて、ノーカウントになるケースを考えて見ますと、俗に言うネットオーバーは失ポイントになりますが、今回の惰性によるネットオーバーはその「惰性」なくしてネットオーバーなら失ポイントになります。と同時に、相手側にネットタッチがあれば第

36条の(3)でノーカウントになりますが、今回は打球したボールがまだ有効な時に打球の勢いで自分がネットタッチをしており、ノーカウントになる条件はどこにもありません。しかし、正審が判定を下したことに再質問があって、慌てふためき混乱され困り果てた末、第36条の(4)を適用され、ノーカウントにされ決着を見たように受け取れますが、如何でしょう。今後、問題が発生した時は、それに至る状況をリプレーして、手順を踏んで解決する方法を取りましょう。

また具体例ですが、ノーカウントになる条件は、「失ポイントになることが双方のペアに同時に発生した場合」です。今回のケースでは、ポレー (スマッシュ) したボールが打球妨害に該当せず、ツーバウンドすると同時に「ネットタッチ」が起こった場合が該当します。また、打球妨害 (インターフェア) の具体例としては、ポレー (スマッシュ) して惰性で「ネットオーバー」したプレーヤーのラケットが、相手プレーヤーのラケット、身体又は着衣に触れた場合等が該当します。

なお、ご指摘の「インプレー中の惰性でのネットオーバーが打球妨害であったかどうかの判定」は非常に難しいことですが、その判定はアンパイヤーがしなければなりません。競技規則の十分な理解と公平な判定に心掛けるようご指導をお願いします。



いさお  
ポレーした勢いであっても、相手のじゃまをしたらダメ。

### 【関連規則】

競技規則第35条 (インプレーにおける失ポイント)	第5号 (ただし書き) 打球の惰性でラケットがネットを越えた場合、及び相手アウトコートに触れても明らかな打球妨害 (インターフェア) にならない場合を除く。
競技規則第36条 (ノーカウント)	第3号 失ポイントになることが双方のペアに同時に発生した場合。